

1 年 学 年 通 信

No. 2

2011.5.15

フレッシュマンセミナーを終えて

4月27日から29日までの3日間、国立三瓶青少年交流の家で宿泊研修を行いました。今回の研修の柱は「職業調べ」でしたが、さまざまな職業があることやそれぞれの職業の適性について知ること、自分自身を見つめなおす機会になったのではないかと思います。また、集団生活を通して規律を守り他者を尊重することの重要性を感じられたようです。研修で得られたことを日々の生活に生かしていってほしいと思います。

～2泊3日間の様子～

アイスブレイキング

青少年交流の家の職員の方より入所に際しての説明を受けたあと、アイスブレイキングを行いました。緊張でかたまっていた互いの心と身体を、ゲームを通してほぐしていきました。クラスごとに手をつないで輪になり、フープを通していくゲームでは、各クラスでいかに速くフープをくぐり抜けるか工夫をし、タイムが縮まったときには歓声もあがりました。入学後、話をしたことのなかったクラスメイトとも、これを機に仲良くなれたようです。



仕事調べ（個人活動）

3月25日の入学前指導の時に行った「進路GPS」（進路適性検査）の個人結果をもとに仕事調べを行いました。個人結果には進路意識成熟度（進路意識がどの程度あるか）、興味、適性、行動特性（行動面での特徴）、現状など、様々な面からの分析結果やアドバイスが載っています。自分では気づけなかった一面、思いもよらなかった一面を発見できた生徒も多かったようです。まずは自分の結果とじっくり向き合いました。

そして「適性あり」の判定が出た職業分野の中から関心を持った仕事について、さまざまな資料を使って調べていきました。仕事内容、必要な資格、仕事のやりがい、将来性など、色々な角度から職業について調べていきます。生徒達の取り組みの姿勢は真剣そのものでした。

仕事調べ（班活動）

個人調べの後は、班ごとに作業をしました。個人で調べたものをお互いに発表し合った上で、班として調べ、発表する職業を2つに絞り、さらに調べを深めます。班ごとの活動によって、今まで知らなかった職業を知ったり、友達の意見を聞くことで職業に対する考え方が変わったりと、意義のある活動となりました。また、班内で役割分担をし、互いに協力し合いながら、クラス発表に向けて準備を進めていました。



仕事調べ（クラス発表）

班活動で調べた内容を発表用シートにまとめ、クラスに向けて発表をしました。その仕事の魅力や将来性、やりがいや厳しさなどは、資料にある情報だけでなく、生徒自身が考えたものも挙げられました。発表のあとには質疑応答の時間も設けられ、予期せぬ質問を受けながらも、自分たちなりに考えて応えることができていました。発表が終わると、ワークシートのわかりやすさ、発表態度などを真剣に評価していました。



LHR（集団討論）

研修日2日目の午後は各クラス副担任によるLHRを集団討論形式で実施しました。「(人生を成功させるための)10枚のカード」の中で、どのカードを、どのような理由で、自分の「大切なカード」とするのか、まず個人でよく考えます。次に班の中で意見交換・話し合いをします。そして今度は班として、どのカードを、どのような理由で、「大切なカード」とするのかを決めます。班の中で意見が分かれ、最終的な1枚を選ぶことができなくても、それはそれで構いません。人それぞれ価値観が違うのですから。

自分の意見を述べることと友人の意見を聞くこと等を通し、色々な「気づき」がありました。互いの違いを認め合いながら、多様に開かれた自他の心を見つめるという、貴重な学習ができたのではないかと思います。



仕事調べ（学年発表）

学年発表では、各クラスより選ばれた2班（2つの職業）ずつ、合計10班が講堂で発表しました。生徒と教員合わせて約200人という多人数の前での発表であるため、緊張した表情でしたが、どの班もよく調べられており、例年以上に内容の濃い発表でした。今年の発表会では産社委員が司会進行の役を行ったこともあり、学年全体で作り上げた雰囲気のある発表会となりました。質問も多くでて予定時間をオーバーするほどでした。



自主学習

夕食をはさんで、夜間は各クラスで自主学習に取り組みました。初めに3教科（国語・数学・英語）の各先生から中間試験にむけた学習方法についての指導があり、生徒は配布された課題プリントに懸命に取り組んでいました。仲間が集中して取り組む姿に刺激を受けた人も多かったようです。休憩を間に入れながら各教科1時間ずつ、計約3時間の学習でしたが、熱心に取り組んでいました。

三瓶登山

昨年からはまった三瓶山登頂。今年は疲れもピークの最終日に行ないました。前日までの雨の影響で登山道の足下が悪く、実施が心配されましたが、教頭先生の「やろう！」の一声で実施決定となりました。この日だけは絶好の登山日和となり（これも日頃の行ないが良いせいでしょうか？）全員元気に登ることが出来ました。頂上も思ったほど寒くなく、クラス写真を撮ったりお弁当を皆と食べたりと、研修最終日を満喫しました。途中は苦しいけれど、登頂できた時の達成感を忘れず、日々の生活を頑張りたいと思います。



～生徒の感想より～

- * 自分に一番合っている職業や、これからの進路希望、自分の今の興味のあることが改めてわかりました。自分たちで調べて、それを分かりやすくまとめてみんなの前で発表するというのは、そんなに簡単なことではなくて、1人じゃもっと難しいと思うけど、班のみんなで協力して1つのことに取り組めたのはすごく良い経験になりました。
- * LHRでは自分の大切なカードとiraないカードを決めました。班の中で話し合ったときに自分が下に決めたカードでも相手にとっては上にあたりと、いろいろな考えがありました。私の考えが普通とか相手の考えが1番ではなくていろいろな考えがあるからおもしろいんだなと思いました。
- * 夜の学習や職業調べを通してクラスのみんなどより仲良くなれたし、これからの学校生活を一緒にする仲間と楽しく過ごすことができよかったです。こうして研修ができたのも三瓶の職員の方や先生方のおかげだと思うので感謝したいです。この研修で学んだり、得たものをこれから活かしていけたらいいなと思います。

「産業社会と人間」は、毎週2時間ずつ授業が行われます。今後、1学期中には「職業人講演会」や「学問調べ」などが予定され、生徒自身の進路について考える機会が設けられていきます。生徒のみなさんが授業を通して、自身の生き方やあり方について真摯に考えていってくれることを期待しています。

家庭学習時間について

生徒のみなさんには新入生オリエンテーション時より1日「学年+2時間」（1年生では3時間）の家庭学習の時間を確保するよう指導してきました。部活動や家庭での手伝い等もあって難しい生徒もあるようですが、できるだけ机に向かう習慣をつけさせていきたいと考えています。

右下のグラフは、あるクラスの5月2日（月）～8（日）の平均家庭学習時間です。5月6日（金）が中間試験1週間前の登校日、翌7日・8日の休日の平均学習時間は両日とも4時間を越えました。1週間を平均すると1人あたり1日179.2分で、連休も手伝って目標をほぼ達成することができました。

13日（金）から中間試験期間です。また、試験期間が終わっても、気を抜かず懸命に学習に取り組んでほしいと思います。

